



京都府立京都スタジアム

サンガスタジアム by KYOCERA

みんなの笑顔きらめくコンパクトスタジアム！



敷地は、亀岡盆地を形成する山々を背景に北側を流れる保津川と、南側を走るJR嵯峨野線に挟まれた、街区開発が進行中のJR亀岡駅北土地区画整理事業の商業エリアの駅前に位置します。

本スタジアムは、スポーツ庁、経済産業省が掲げるスタジアム・アリーナ改革の先駆けであり、民間活力を生かしたにぎわいを創出する新しい“まちなか・えきちかスタジアム”として整備されました。

限られた敷地形状に合わせたコンパクト化により、すべてのステークホルダーが喜びを享受できる最高のスタジアムとすることを目指しました。

■ 観客動線及び車両動線図



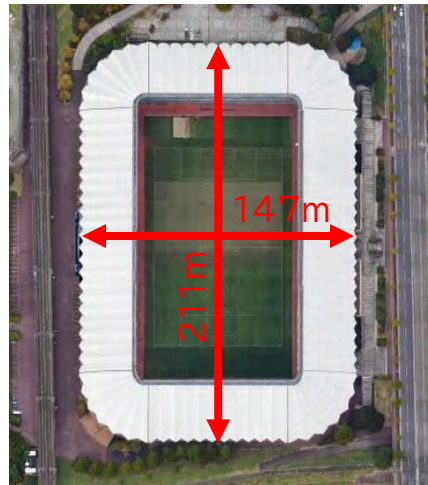
みんなの笑顔きらめくコンパクトスタジアム！



2万席クラスの球技専用スタジアムの平面寸法比較 ▶
(google mapにて計測)

スタジアムのコンパクト化により・・・

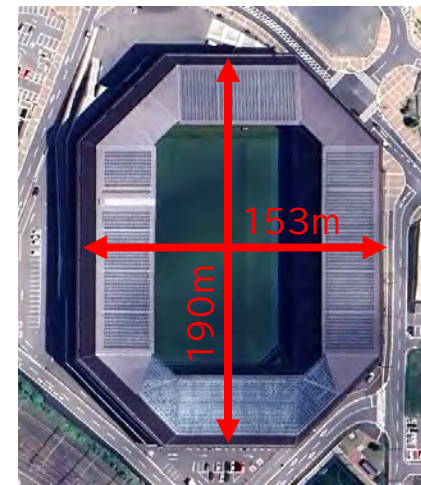
- ①観客とフィールドの距離を極限まで近づけて**観客・選手の一体感や臨場感を高める**最高の観戦環境を創出
- ②**建設コスト・運営コストの低減**や維持管理のしやすい施設の実現
- ③景観や生態系保全など**周辺環境への影響の最小化**
- ④亀岡市が進めるコンパクトなまちづくりに呼応した、収益性を高め、地域の人々が**日常的に憩い、にぎわう場の創出**



ユアテックスタジアム仙台
(19,526席)

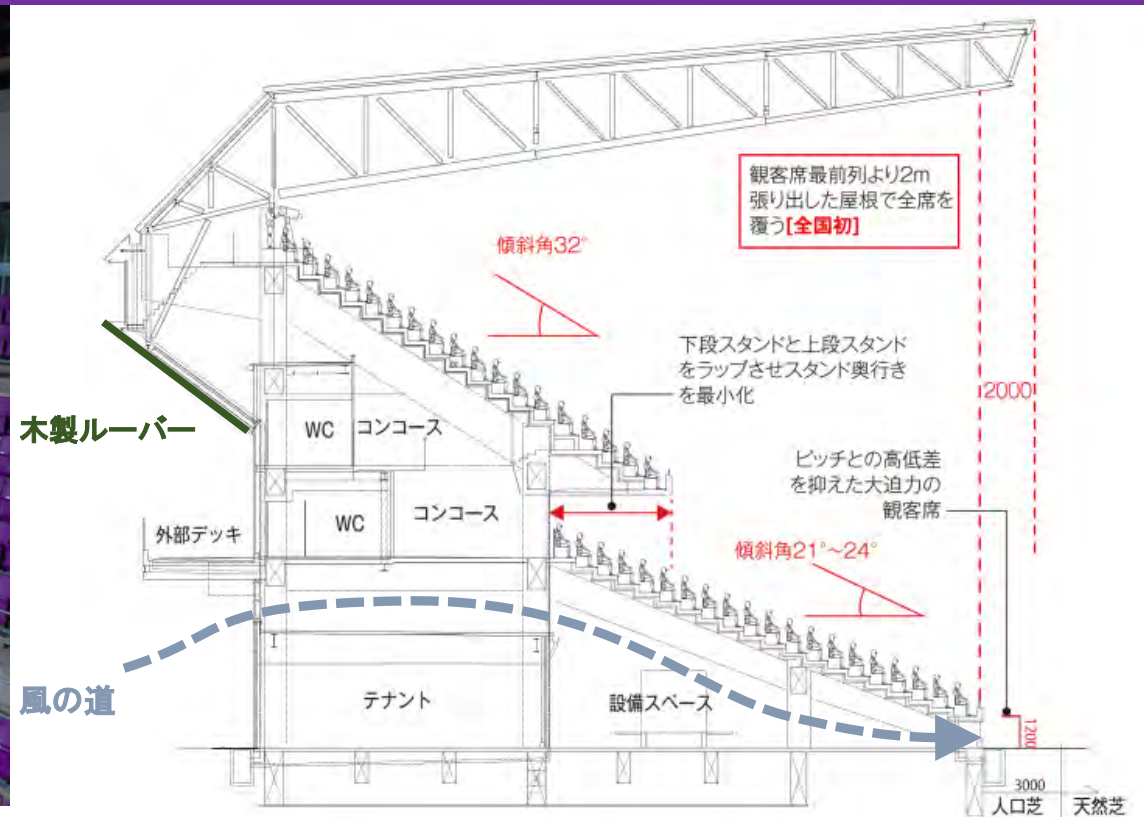


フクダ電子アリーナ
(18,500席)

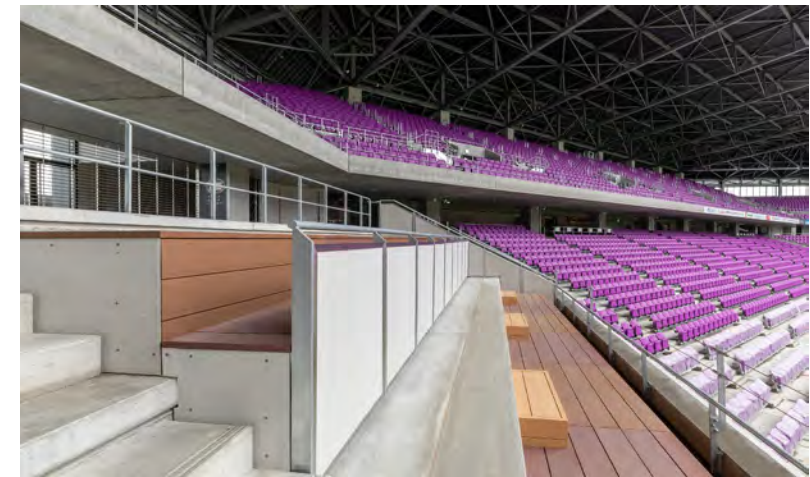


サンガスタジアム
(21,600席)

最高の観戦環境の創出！ 観客とフィールドを極限まで近づける



- ・上段スタンドを下段スタンドに**できるだけオーバーハング**させることで観客席全体をフィールドに極限まで近づけ、臨場感と一体感あふれる観戦環境を実現
- ・スタンドを覆う屋根は、**専用スタジアムでは国内初の最前列から2m突き出し**、雨天時の観戦に配慮
- ・**高さを抑えた屋根で全体を包み込む**ことで選手の声や観客の声援が大きく響きあう音環境づくりを創出
- ・スタンド四隅には、フィールド全体を対角に見渡すコーナー席を配し、その一部はピクニック気分で観戦できるウッドデッキのテラス席に



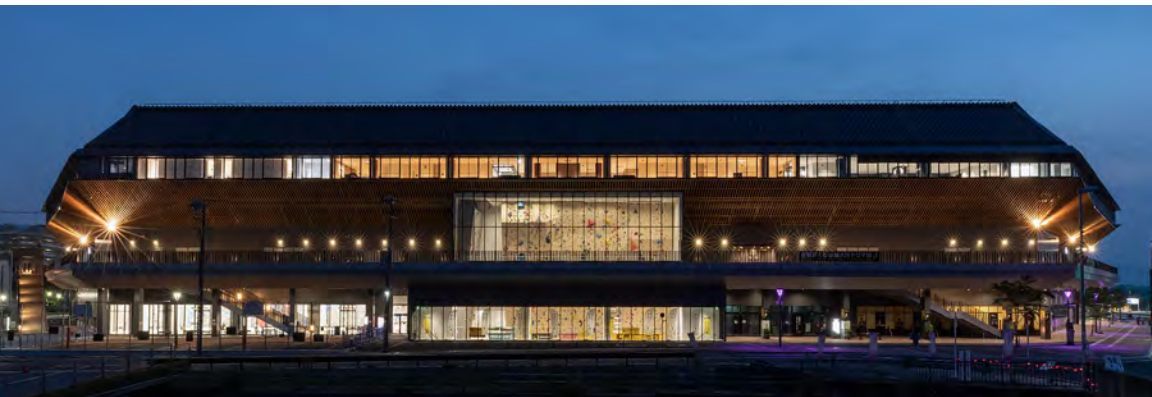
最高の観戦環境の創出！ 高揚感の演出



ゲートの向こうに鮮やかなピッチと観客席が目飛び込む

スタンドへのアプローチでは、外観の落ち着いた色調に対し、ゲートをくぐると鮮やかなピッチの緑と観客席の紫が目飛び込んでくる高揚感あふれるシーンの展開をデザイン

夜はスタジアムが浮かび上がるライティングにより、まちを照らし人を迎え入れる灯りとなる



まちを照らす灯りとなるスタジアム



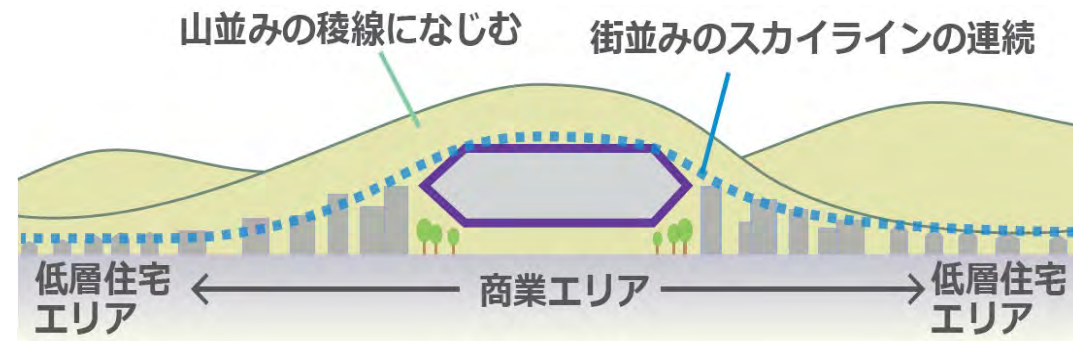
高揚感を高めるライティング

京都らしさを感じるおもてなしスタジアム！ 亀岡の風景に調和する佇まい



亀岡の風景に馴染むモノフォルム・デザインによるシルエット

- ・高さを抑えたシンプルな**モノフォルム・デザイン**により背景の山々の稜線になじませる
- ・保津川下りの船形をモチーフとした逆台形の軒が印象的な風景をつくるとともに、スタジアムとしての躍動感を表現



保津川下りの船形をモチーフとした軒の逆台形のシルエット

京都らしさを感じるおもてなしスタジアム！ 地場産材の活用



いぶし瓦色の大屋根や、垂木や京格子を想起させる府内産杉材による軒ルーバーによる、京都らしい「和」を感じさせるデザイン



いぶし瓦色の金属屋根

ウッドマイレージCO2認証の京都府内産間伐材による軒ルーバー

京都らしさを感じるおもてなしスタジアム！ 京都を感じさせるおもてなしの空間



来賓やスポンサー企業VIPの交流の場 VIPラウンジ



VIPゾーンでは、
府内産木材を用いた
格子や格天井、
京都の土を練り込んだ
壁装材など、
京都らしさを随所に
感じるおもてなし空間
を提供

VIPエントランス



スカイボックス

日常のにぎわいの創出！ 都市公園型スタジアムからの脱却と収益性向上

これまでのスタジアムは・・・

- ・国体開催に向けて都市公園内に整備することが多い
- ・建設費を交付金でまかなう
- ・公園施設として建築面積の制限や過度な収益への規制がかかり、自由な運営がしづらい



当スタジアムは・・・

駅前の商業エリア立地であり、都市公園のような制限もなく、にぎわい創出施設についても自由度を高めた提案と整備が求められた



北サイドから東側バックスタンドの1階に、テナントが入居できる店舗ゾーンを外向きに配置し、日常的に気軽に立ち寄れる活気あふれる沿道空間をデザイン



日常のにぎわいの創出！

日常的にまちのにぎわいをつくる地域の拠点となる施設



①足湯

スタジアムと調和する地場産杉ルーバーに包まれた、誰でも利用できる足湯。地元湯ノ花温泉の湯を使い、地域をPR。



③企業主導型保育園

天然芝ピッチが園庭となる、スタジアム全体を遊び場として活用した保育園。スタジアムと地域コミュニティのコア施設との相乗効果を生み出している。



②フードコート

地元グルメが楽しめる5店舗が営業。キッズコーナーも併設しており、試合時はもちろん、平日でも地域住民や観光客でにぎわっている。



日常のにぎわいの創出！ 日常的にまちのにぎわいをつくる地域の拠点となる施設



⑥クライミング施設

スポーツ3種目(リード・スピード・ボルダリング)とキッズウォールを有する国際基準のクライミング施設。民間(好日山荘)が運営している。沿道や外部デッキからガラス越しにリードウォール全景が見える配置とし、にぎわいあふれる沿道空間をつくっている。



⑥3×3コート

事前予約で無料利用できる。地域の子どもたちや地元チームなどの利用のほか、体験教室なども開催している。



④木育ひろば(KIRI no KO)

亀岡市が開設、民間が運営する、木のぬくもりを感じながら体をおもいっきり動かすことができる屋内こども遊び場。特に休日は家族連れでにぎわっている。



⑦VR/e-sports/コワーキング施設(4F)

スタジアムとは動線分離した4階に配置。VRを駆使したフィットネスゾーンやフィールドや保津川の風景を望むコワーキングスペースなどを有する。



建物概要

主要用途：観覧場、店舗、スポーツ練習場

敷地位置：京都府亀岡市亀岡駅北1丁目

工事種別：新築

敷地面積：33,141m²

建築面積：16,154m²

延床面積：35,601m²

構 造：鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造

階 数：地上4階

建築物の高さ：設計GL+27.60m

プロジェクト担当者

建 築 主：京都府

施設管理者：合同会社 ビバ&サンガ

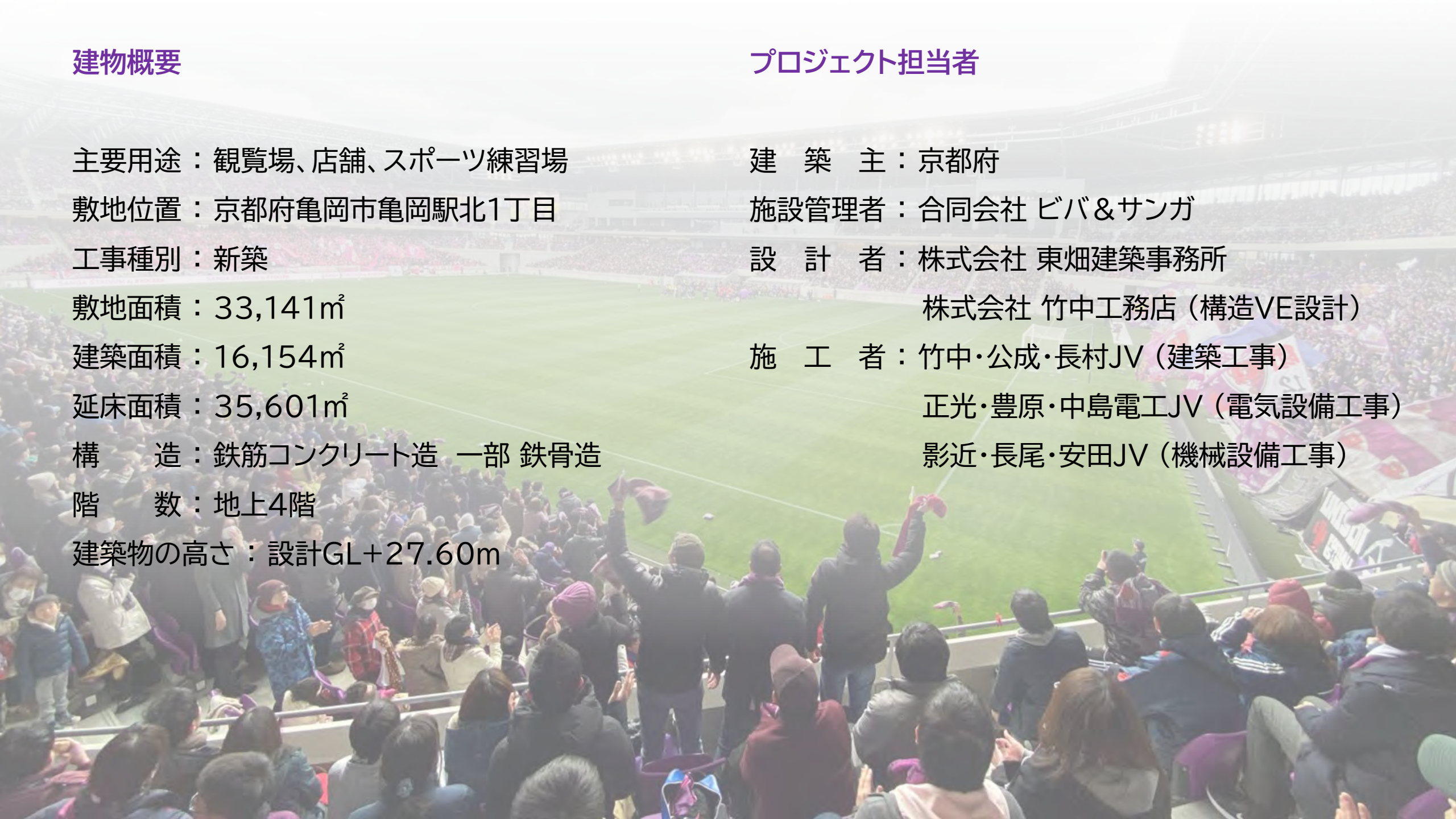
設 計 者：株式会社 東畑建築事務所

株式会社 竹中工務店（構造VE設計）

施 工 者：竹中・公成・長村JV（建築工事）

正光・豊原・中島電工JV（電気設備工事）

影近・長尾・安田JV（機械設備工事）



エピソード

非常に狭い敷地に2万席規模のスタジアムを納める必要があったため、コンパクトにつくることに工夫を重ねようと考え、それをコンセプトにしました。コンパクトにつくることで、①観客とフィールドの距離を極限まで近づけて観客・選手の一体感や臨場感を高める最高の観戦環境の創出、②建設コスト・運営コストの低減や維持管理のしやすい施設の実現、③景観や生態系保全など周辺環境への影響の最小化、④コンパクトなまちづくりに呼応した、日常的に地域の人々でにぎわう使いやすいスタジアムの創出、により観客・選手・地域の人々・事業者・運営者のすべての人々が喜びを享受できるスタジアムの実現を目指しました。臨場感あふれる観戦環境は多くのサッカーファンやメディアに評価されています。また試合のない日でも多彩な附帯施設に多くの方が訪れており、日常的にまちのにぎわいが生まれています。

設計者より